

計量経済学第2回レポートについて

課題

あなたが関心を持っている分野の量的データを収集し、そのデータを被説明変数とする回帰分析を行いなさい。データは経済学に関連するものである必要はない。分析には以下の3つを含むこと。

- ・ ダミー変数
- ・ 単一の回帰係数に関する仮説検定
- ・ 複数の回帰係数の線形制約に関する仮説検定

また、レポートは第1回レポートと同様に以下の構成で作成すること。

1. はじめに
2. データ
3. 分析
4. おわりに
5. 付録

その他の注意

- ・ レポートには必ず表紙をつけ、表紙には学籍番号と名前、レポートのタイトルを記述すること。
- ・ レポートのタイトルは「第2回計量経済学レポート」といったものではなく、レポートの内容を簡潔に表現するようなタイトルを付けること。
- ・ 図や表には見出しを付けること。また、グラフの縦軸、横軸が何を表しているのかを図中に明示すること。

提出先：学務係内のレポートボックス

締切：2008年2月8日（金）午後5時30分